

2026年2月特集

「アルミニウム合金のひずみ速度感受性およびモデル化」

「軽金属」では、2026年2月号に標記の特集を予定しています。研究論文をはじめ、解説、技術報告等の原稿の募集要領は下記のとおりです。なお、採択・掲載までの過程は通常原稿に準じ、編集委員会にて進めます。なお、特集への研究論文、解説の投稿・掲載料は無料となります。奮ってご投稿ください。

【特集要旨】

金属材料のひずみ速度感受性については、古くからその現象が知られており、多くの報告があります。一般に、アルミニウム合金のひずみ速度感受性は、鉄鋼材料に比べて、ひずみ速度による応力の変化が小さいと認識されており、注目度が低いですが、変化の割合で考えると、鉄鋼材料に比して同程度の場合もみられます。中にはAl-Mg系合金のように負の依存性を示す場合もあります。令和3年度より活動を開始した「アルミニウム合金のひずみ速度感受性モデル化研究会」では、ひずみ速度感受性およびそのモデル化に着目し、新しい測定技術や新しい測定結果について紹介し、研究活動や意見交換をしてきました。また、部会の共通試料として、自動車構造用アルミニウム合金、特に、衝撃吸収部品としての採用実績のあるA6082をベース合金として選定し、このベース合金に対してリサイクル時に不純物として増加することが想定されるSi、Fe、Cuを規格範囲外まで増加させ、部会内で分担を決めて測定し、結果を議論してきました。この度、会誌「軽金属」で、この主題に関する特集を組みました。速度の速い遅いに関係なく、アルミニウム合金のひずみ速度感受性、つまり変形速度の影響、そのモデル化などに関連する最新の研究成果について、幅広く投稿を募集します。

【特任編集委員】

西田 政弘（名古屋工業大学）、宮崎 悟（株式会社UACJ）、山田 浩之（防衛大学校）

【原稿募集要領】

募集原稿：解説、研究論文、技術報告等

募集締め切り：2025年7月20日

*原稿は、本誌投稿規定ならびに執筆要領に従って、投稿審査システムを通じて投稿してください。また、原稿は特集号への投稿であることがわかるように備考欄に「2026年2月特集号」とご記入ください。

【投稿予備登録】

投稿予定者は、2025年6月20日までに予備登録を行ってください。

「特集号予備登録」と標記して、①原稿の種類、②題目、③著者、④投稿予定日、⑤連絡先（〒、住所、所属、E-mailアドレス）を明記のうえ、E-mailで下記までお送りください。

【問い合わせ先】

一般社団法人軽金属学会 編集委員会 事務局 Tel: 03-3538-0232 E-mail: jsedit@jilm.or.jp